

2022年 全国 公立高校入試の傾向 理科

例年同様、選択問題や用語・化学式を答える基本的な問題が多く出題されています。一方で、多くの生徒が苦手にしがちな**短文記述、計算、作図**の出題割合も無視できず、高得点を狙うためには対策は欠かせません。

具体的に、短文記述、計算、作図でどんな問題が出題されたのか見ていきましょう。

短文記述

- 対照実験を行う理由 ●雲をつくる実験の操作・結果や雲のでき方
- 気体の集め方とその理由 ●根毛・柔毛・肺・えらのつくり

原理や仕組み、理由などが分野を問わず出題されています。「なぜその方法を用いるのか」「この現象はどのようにして起こるのか」など、**結果だけではなく過程を説明できる力をつけることが重要です。**

計算問題

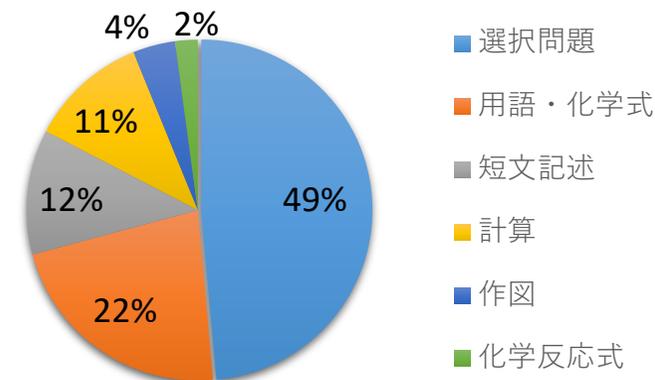
- 速さ ●オームの法則
- 化学変化と物質の質量 ●電力

物理分野からの出題が多かったですが、例年、化学分野からの出題も多く見られます。**公式を正しく覚え、割合や比を使った練習を積み重ねて計算ミスを減らしましょう。**

作図問題

- グラフ ●力の矢印
- 光の道すじ・像 ●天気図の記号

グラフの作図の出題が圧倒的に多いです。**測定結果のグラフ化や、力の矢印や光の道すじの書き込みなど、まずは基本的な作図をマスターしましょう。**



短文記述オススメ教材！『理科 計算・作図・記述の完成』

記述分量が一文程度の問題を集めています。例題の“Point”を参考に、より精度の高い解答の記述を目指していきます。この1冊で、計算や作図も演習でき、お得です◎

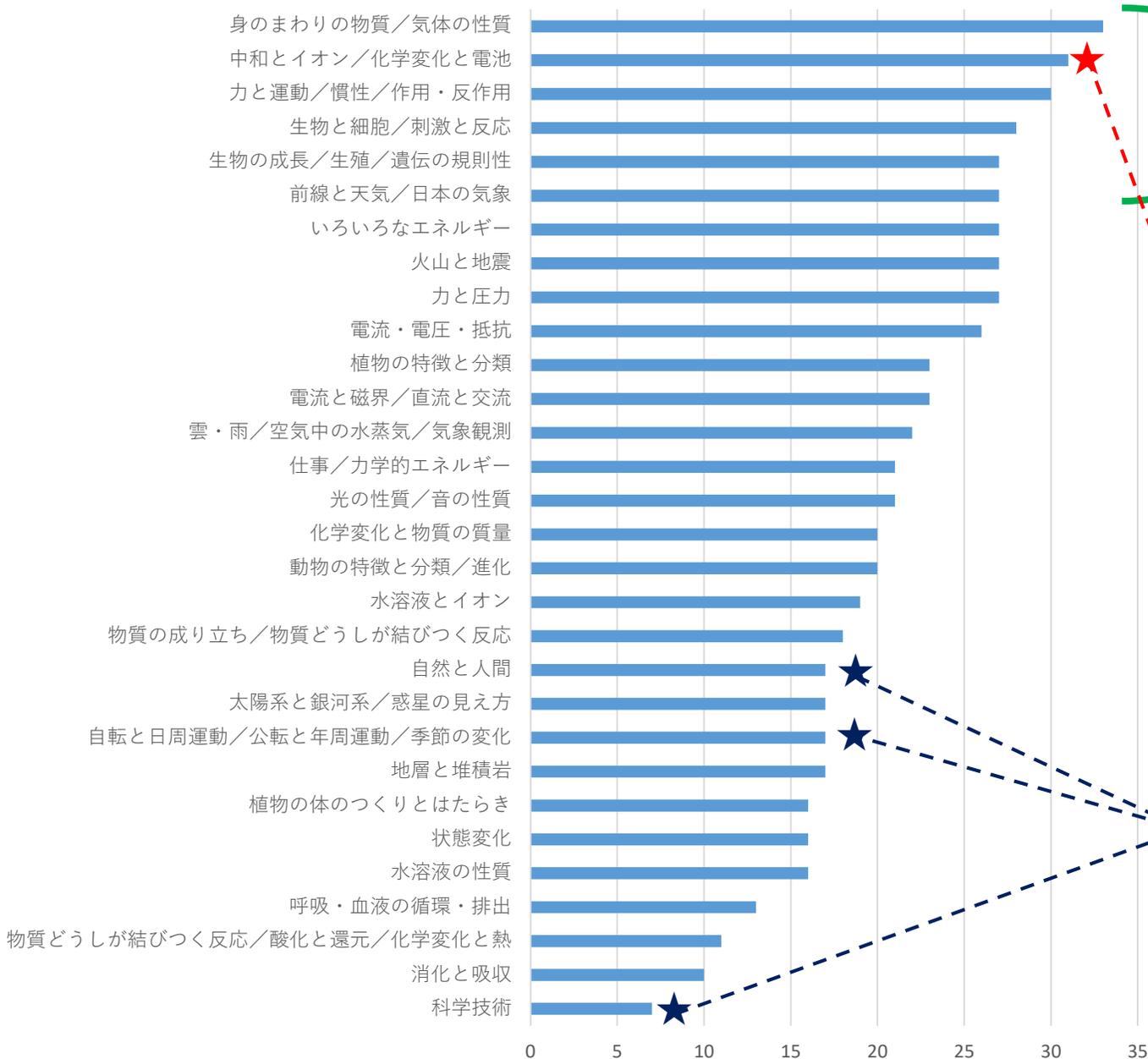
計算問題オススメ教材！『理科 計算問題の解き方』

計算問題を基本から確認できます。4つの段階を踏んで、徐々にステップアップできるような仕組みになっています。

作図問題オススメ教材！『理科 計算・作図・記述の完成』

おさえておきたい頻出の作図問題がまとまっています。例題数も多く、理解するまで何度も取り組みます。この1冊で、計算や記述も演習でき、お得です◎

2022年 単元別 出題都道府県数 理科



毎年20以上の都道府県で出題されています。

2022年の出題割合がぐっと伸びました。新教科書に追加された**イオン化傾向**、**ダニエル電池**の出題が目立ちます。

こちらでも2022年の出題割合が増加しました。2021年はコロナの影響で出題範囲が狭くなった都道府県があり、それがもとに戻ったと考えられます。